

令和8年度(2026年度)吹田市立図書館の目標

吹田市立図書館では、「吹田市立図書館サービス基本計画 令和5年度(2023年度)－令和14年度(2032年度)」において、図書館が目指す3つの基本目標と、その目標を具体化するための個別の図書館サービス事業－9つのサービス方針を掲げています。この9つのサービス方針に基づいて令和8年度の具体的な目標、取組を定め、進捗状況を点検しながら、その実現を図っていきます。(項番の前に★印を付けた目標は、令和8年度の重点取組です。)

3つの基本目標

- 基本目標1** 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも役立つ図書館を目指します。
- 基本目標2** 生涯学習を支援して、人生を豊かにする図書館を目指します。
- 基本目標3** 子育て支援や学校との連携を通して、子供の健やかな成長に役立つ図書館を目指します。

基本目標1 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも役立つ
図書館を目指します。

サービス方針1 資料と情報の提供

【令和8年度の目標】

- 1 全館で選書作業を分野別に分担して実施することにより、多種多様な資料の収集に努めます(集中選書方式)。また、電子書籍については、複数アクセスが可能な読み放題パックなど電子書籍ならではの資料を活用します。
- 2 司書の情報提供能力を発揮し、本や読書に関する情報を発信します。
(例)各館や電子図書館での特設(毎月・各行事)、メールマガジン、X(エックス、旧ツイッター)、夏休み文庫(「もうよんだかな?」・「てくてく」)の編集・発行など
- 3 開架資料(*1)については書架を更新するとともに、探しやすい配列やサインを整備し、資料を手に取りやすい魅力的な書架づくりを行います。閉架資料(*1)については、大型書庫を備える館(中央図書館、千里山・佐井寺図書館)を中心として適正な書庫の利活用を図ります。
- 4 利用者がカウンターで気軽に質問や相談ができる環境づくりを進めます。
- 5 市職員へのレファレンス(*2)を通じ、本市の業務に必要な資料及び情報を提供する行政支援サービス(*3)の利用を促進します。
- 6 デジタル資料の収集方針に則り、行政資料の保存を進めるとともに提供方法の検討を進めます

(指標)レファレンス受付件数		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目 (前年度比10%増)
10,455 件	11,192 件	12,311 件

※利用者、他自治体、行政、学校などから受けた質問の総件数

サービス方針2 バリアフリー読書支援サービス(障がい者サービス)

【令和8年度の目標】

- 1 利用者の要望や意見をサービス改善に役立てるため、「障がい者サービス利用者懇談会」を開催します。
- 2 市立図書館で製作したアクセシブルな書籍等(録音図書、点字図書、さわる絵本)を全国で利用できるよう、サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館(*4)と国立国会図書館へのデータ提供を継続します。また、それらの資料を製作する音訳者、点訳者の養成講座を開催します。
- 3 市立図書館が提供しているバリアフリー読書支援サービスについて周知するために、利用案内等を作成する他、図書館ホームページのコンテンツの充実を図り、読み上げソフトや点字に対応した情報を提供します。また、市関係部署と協力・連携をしながら、広報・宣伝活動を展開していきます。
- 4 多様な読書方法への興味や関心を抱くきっかけづくりとして、体験型イベント「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界 in すいた」を引き続き開催します。
- 5 拡大読書器(*5)、リーディングトラッカー(*6)など各館に設置している読書支援機器や大活字本についても積極的に周知し、利用促進を図ります。

(指標)アクセシブルな書籍等の年間貸出点数※		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
31,803 件	32,663 件	経年比増

※デジタイズ図書(*7)、テープ図書、点訳図書、さわる絵本(*8)のダウンロード数及び総貸出数

サービス方針3 持続可能な運営

【令和8年度の目標】

- 1 図書館サービスを取り巻く環境変化や新たな課題に対応しつつ、キャリア形成の段階に応じて専門的能力を発揮できるよう、計画的な研修受講をすすめます。
- ★2 吹田市立図書館人材育成方針に基づき、職員が各段階に求められる能力を身につけることを目指し、特にカウンターでのレファレンスや予約受付時に市民の要

望を適切に受けるためのコミュニケーション能力について、OJT を通じて着実な向上を図ります。

- 3 市の生成 AI の活用方針に基づき、生成 AI を適切に活用して事務の効率化・迅速化を図ります。
- 4 令和7年度に実施した図書館電算システムの更新を踏まえ、サービスの向上や利用者満足度が向上されたかを測るため利用者アンケートを実施します。

(指標)ICT の活用
令和8年度目標
図書館電算システム更新後の利用者満足度調査の実施

基本目標2 生涯学習を支援して、人生を豊かにする図書館を目指します。

サービス方針4 利用促進

【令和8年度の目標】

- 1 図書館や市のホームページ、SNS 等を活用して、図書館サービスの基本的な情報を周知することで、図書館に興味関心を持ってもらい、幅広い市民の利用促進を図ります。
- 2 現在図書館を利用していない市民へ利用を促すため、市役所本庁舎など図書館外における PR 活動や吹田市生涯学習出前講座(*9)、講師派遣の取組を引き続き行います。

★3 施設の魅力向上を通じて施設の年間来館者数増を目指します。

(参考)・令和7年度年間来館者数 2,195,974人

・「吹田市第4次総合計画基本計画改訂版」における指標

222.0万人(令和10年度)

- 4 子供から大人まで、読書や本の世界をより楽しめるような講座を企画するほか、読書以外に興味がある市民にも図書館に足を運んでもらえるよう幅広い内容の講座企画や取組を進め、図書館の利用促進を図ります。

(指標)市民の利用登録率		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
25.0%	27.4 %	31%

サービス方針5 特色あるサービス

【令和8年度の目標】

健康・医療情報サービス

- 1 健都ライブラリーを中心に市民の関心の高い医療や健康問題に関する幅広い資料を収集・提供し、関連するイベント・講座を開催します。
- 2 調べ方案内のリーフレット(パスファインダー*10)については引き続き作成・改訂を行い、更なる充実を図ります。また、パスファインダーの活用事例を紹介するなどして、市民に役立つツールとして幅広く定着させることを目指します。

多文化サービス

- 1 吹田市に在住・在勤・在学の外国人を支援するため、市関係部署と連携し、外国人利用者の図書館見学会を実施します。
- 2 外国にルーツを持つ子供を支援するため、小中学校をはじめ保育所、幼稚園、認定こども園や市関係部署と連携してニーズをつかみ、外国語の図書や電子書籍の提供を進めます。
- 3 多文化サービスの利用促進のため、子供向けの外国語絵本の読み聞かせ会などを実施します。

ビジネス支援サービス

- 1 江坂図書館を中心に市民の経済活動を活性化するため、市関係部署と連携し、ビジネスや起業に役立つ講座を開催します。
- 2 市関係部署と連携を図り、ビジネス支援だよりを定期的に発行します。
- 3 大阪府立中之島図書館等類縁機関と連携したビジネス支援サービスの提供に取り組めます。
- 4 ビジネス支援サービスの利用案内を掲示する等、PRに努め、利用促進を図ります。

就労・就業支援サービス

- 1 さんくす図書館を中心に市民の就労・就業及びリスキリング(学び直し)を支援するため、資格取得の問題集や参考書、電子書籍の充実を図ります。また、図書館外の施設へのPRに引き続き努め、資料の利用促進を図ります。
- 2 若者から高齢者まで幅広い年代の就労を支援するために、市関係部署と連携し、就労支援事業や各種講座に協力します。また、地域の就労支援機関のちらしやパンフレットを収集し、提供します。

(指標)関係機関との連携(連携した企画の実施回数)	
令和7年度実績	令和8年度目標
38回	数値目標4回/年 (各サービス年1回以上)

※主催・共催企画を対象とする。3回連続講座は3回と数える。

(令和7年度実績)健康・医療情報サービス30回、多文化サービス4回、ビジネス支援サービス3回、就労・就業支援サービス1回

サービス方針6 施設や地域との連携

【令和8年度の目標】

- 1 市内に所在する大学と連携し、図書館実習生の受入や留学生や司書課程受講生向けの図書館施設見学、連携行事などを積極的に行います。
- 2 子育て世代や児童の利用を促すため、子供に係る施設や団体との連携行事を実施します。
- 3 幅広い世代に向けて、司書の専門知識を生かした講座を実施するなど、図書館の魅力をもPRし利用の促進を図ります。
- 4 吹田市内にある各施設の魅力を互いにPRするため、市内施設との連携した取組を進めます。
- 5 講師派遣や吹田市生涯学習出前講座を通して、司書の専門性を地域に還元し、地域の課題解決を支援します。

(指標)講師派遣回数(目標回数 10 回/年に対する達成度)		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
20%	150% (派遣回数15回)	100%

※10 回=9館1分室×1回

※吹田市生涯学習出前講座の講師と市関係部署の研修への講師派遣の回数を合わせる。

サービス方針7 市民との協働

【令和8年度の目標】

- 1 市民が新たにボランティア活動に取り組むきっかけにつながるよう、未経験者でも参加しやすいメニューの見える化を図り、ボランティア登録者の増加を目指します。
- 2 乳幼児サービスに関わるボランティア(0～3 歳向け読み聞かせボランティア)の新規養成と技術向上のために、養成講座及びスキルアップ講座を引き続き開催します。
- 3 バリアフリー読書支援サービスに関わるボランティア新規養成と技術向上のために、養成講座を引き続き開催します。また、交流会や懇親会を行い、より一層の協働を進め、ボランティア団体の活動を支援します。
- 4 講座やイベントなどで市民を講師や演者に迎えた企画を実施する他、市民団体等との連携企画なども行い、市民の生涯学習を推進するとともに地域づくりに貢献します。

(指標)ボランティア総数		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
580 人	643 人	養成講座定員分増 (定員 40 人を予定)

基本目標3 子育て支援や学校との連携を通して、子供の健やかな成長に
役立つ図書館を目指します。

サービス方針8 児童サービス

【令和8年度の目標】

- 1 ブックスタート事業(*11)については、引き続き保育所赤ちゃん会や離乳食講習会に参加し、事業の説明や絵本の配付を行います。また、取組のひとつである乳幼児向け読み聞かせ(*12)については参加しやすい曜日等開催方法を工夫します。
(参考)ブックスタート絵本配付率 82.6%
- 2 乳幼児期から本に親しむ環境をつくるために、「抱っこで絵本講座」(*13)を地域の状況に応じ、各館1～2回開催します。
- 3 乳幼児から小学生が本や図書館に親しみを持つきっかけを作るため、おはなし会などの定例行事、「子どもと本のまつり」(*14)、季節ごとのおたのしみ会などを引き続き実施します。特に学校の長期休業期間においては、「一日図書館員」(*15)、「宿題タスケルンジャー」(*16)などの児童向け企画を行います。
- 4 「ひとりのびのび読書タイム」(*17)や「親子わくわく読書ひろば」(*18)など本を紹介した子育て支援の取組を継続して実施します。また、PRにあたっては、SNSも活用して子育て世代への幅広い周知を図ります。
- 5 子供の周りの大人に対して「子どもと本の講座」など、子供と子供の本への理解を深める講座・講演会を開催し、子供の読書環境の整備を図ります。
- 6 YA(12～18歳)世代の利用促進を図るため、YAサポーター(*19)などYA世代自身が参加する取組を継続し、本や図書館に親しみを持った働きかけを行います。

(指標)行事参加者数(対象人口に対する目標割合)		
(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
16.2%(★)	33.2%	経年比増

★0歳から18歳の人口に対する割合。平成29年度から令和元年度の平均

サービス方針9 子ども読書活動支援センター(*20)

【令和8年度の目標】

- 1 市立小中学校との定期連絡便(*21)の利用促進に向けて、図書館ホームページも活用しながら団体貸出の活用事例を提示するなど、より利用しやすい仕組みを用意します。
- 2 教諭との交流や読書活動支援者への技術的サポートを引き続き実施します。
- 3 図書館を身近に感じてもらえるように、学校の要望に応じて、図書館見学や学校訪問、図書館訪問を実施します。また、中学生の職業体験の受入れ等キャリア教育の支援も積極的に取組みます。
- 4 子供たちの読書のきっかけを作り、図書館の利用促進を図るため、新学期や夏休みなど学期に合わせて図書や図書館を紹介するリーフレットなどを作成し、市立小・中学生に提供します。
- 5 市立小・中学生の1人1台の学習用端末における「すいた電子図書館」の利用については、「読み放題パック」等同時アクセス可能なコンテンツを充実し、定期的にPRをすることで利用促進を図ります。
- 6 留守家庭児童育成室への団体貸出を引き続き行い、放課後の児童の読書活動を支援します。
- 7 地域での子供の読書活動を支援する取組として、地域・家庭文庫などへの団体貸出などを継続して実施します。

(指標)学校への団体貸出冊数		
令和3年度(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標
25,978冊	29,605冊	経年比増

図書館語句解説

*1 開架資料・閉架資料

開架資料とは、利用者が直接書架から手に取れる資料を指し、一方、閉架資料は、書庫に収納されている資料をいう。

*2 レファレンス(サービス)

何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること。調べ方を教えたり、関連する機関を紹介するなど、司書が個別的に援助する諸業務全体をさしている場合もある。

*3 行政支援サービス

図書館が自治体の政策立案や行政事務に必要な情報・資料を収集し提供すること。

*4 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館

全国の点字図書館や公共図書館が製作又は所蔵する本の点字データや音声データを集積し、視覚障がい者などがパソコンや携帯電話でダウンロードすることにより利用できるようになっている。また全国の図書館が所蔵する約66万タイトル以上の資料のデータを利用することができる。

*5 拡大読書器

カメラで撮影した文字や画像を拡大して画面に表示することにより読み書きを支援する機器。

*6 リーディングトラッカー

読書が困難な人のための読書補助具。読んでいる行の前後、または上下の行を隠して読みやすくする。

*7 デイジー図書

国際標準規格である DAISY (Digital Accessible information System) フォーマットによりデジタル録音された電子書籍。「音声デイジー」は、パソコンで音声データを録音し、編集作業を施して、活字本を読むような形で耳からの読書が可能。専用の再生機(プレクストーク)や再生ソフトで聞くことができ、見出しやページで呼び出したり、飛ばし読みもできる。他にも、合成音声で文字を読み上げたり、文字を大きく表示したりできるテキスト

トタイプの「テキストデイズ」や音声と一緒に文字や画像が表示される「マルチメディアデイズ」がある。

*8 さわる絵本

視覚障がい児などが触覚で鑑賞できるように、絵本を原本にして、フェルトや皮、毛糸など様々な素材を使って絵の部分を半立体的に表現して製作された絵本。

*9 吹田市生涯学習出前講座

吹田市の仕事やこれから取り組もうとしていることを、市職員が直接出向いて話す事業。吹田市立図書館では「親子で絵本とわらべうた」「図書館使いこなし講座」などのメニューを提供。

*10 パスファインダー

ある特定のテーマについて、資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの。

*11 ブックスタート事業

絵本を介して赤ちゃん和家人の絆を深め、心豊かな成長を支援することを目的とする活動。イギリスのバーミンガムで1992年に始まった。吹田市では図書館と保健所が協力して実施。4か月児健康診査等の案内時にお知らせを同封し、図書館に来館した対象者に絵本を1冊贈っている。

*12 乳幼児向け読み聞かせ

ボランティアグループの協力のもと、0・1歳の乳幼児と保護者を対象とした「ブックスタートのひろば」、2・3歳の幼児と保護者を対象とした「おひぎで絵本」で、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうたの実演を行っている。

*13 抱っこで絵本講座

1歳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせについて学ぶ3回連続の講座。読み聞かせの意義や年齢に合った絵本の選び方、読み聞かせの方法を図書館司書が解説する。実際に親子で絵本を読み、読むスピードやページをめくるタイミングなどを具体的に学ぶ。

*14 子どもと本のまつり

子供に本を読む楽しさや喜びを知ってもらうために、毎年4月23日(子ども読書の日)から約1か月間、講演会や工作教室、おはなし会などの子供向け行事を全館で行っている。

- *15 一日図書館員
学校の夏休み期間中などに、小・中・高校生を対象とした図書館の仕事を体験する取組。
- *16 宿題タスケルンジャー
小・中・高校生に向けてレファレンス・サービスを周知するため、学校の夏休み期間に合わせて、宿題のための本を探したり、調べかたのコツをアドバイスする。
- *17 ひとりのびのび読書タイム
山田駅前図書館とのびのび子育てプラザとの連携事業。のびのび子育てプラザが子供を保育している間、保護者は山田駅前図書館でゆっくり本を読んだり、借りる本を選んだりする。
- *18 親子わくわく読書ひろば
就学前の乳幼児と保護者が千里図書館多目的室に集まり、周囲を気にせず絵本や紙芝居等を楽しむ行事・イベント。
- *19 YA サポーター
図書館で活動する市内在学・在住の中学生から18歳までのボランティア。本の整理や掲示物の作成、絵本の読み聞かせや工作教室といった行事の補助などを行う。
- *20 子ども読書活動支援センター
学校、幼稚園、保育園、児童会館、児童センターとの連携を進めるため、令和3年度(2021年度)に中央図書館に担当を設置した。子供の読書活動に関わる団体などへの支援を包括的に行っている。
- *21 市立小中学校との定期連絡便
子ども読書活動支援センターから、市立小・中学校に向けて定期連絡便を運行し、団体貸出の図書の配達、回収等を行っている。